平成25年1月9日

各 位

上場会社名　小津産業株式会社
代表者　代表取締役社長 中田　範三
（コード番号　7487）
問合せ先責任者　取締役経営企画室長 稲葉　敏和
（TEL　03-3661-9400）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年7月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年5月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成24年6月1日～平成24年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,000	320	340	200	23.91
今回修正予想(B)	17,900	200	250	100	11.95
増減額(B-A)	△100	△120	△90	△100	
増減率(%)	△0.6	△37.5	△26.5	△50.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年5月期第2四半期)	18,053	327	340	222	26.62

平成25年5月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年6月1日～平成25年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,000	490	530	320	38.25
今回修正予想(B)	35,800	310	380	200	23.91
増減額(B-A)	△200	△180	△150	△120	
増減率(%)	△0.6	△36.7	△28.3	△37.5	
(ご参考)前期実績 (平成24年5月期)	35,869	419	467	317	38.00

平成25年5月期通期個別業績予想数値の修正（平成24年6月1日～平成25年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	310	340	210	25.10
今回修正予想(B)	9,800	180	220	120	14.35
増減額(B-A)	△200	△130	△120	△90	
増減率(%)	△2.0	△41.9	△35.3	△42.9	
(ご参考)前期実績 (平成24年5月期)	9,783	268	291	185	22.18

修正の理由

1．連結業績予想の修正理由

（1）第2四半期（累計）

不織布事業につきましては、低迷しているエレクトロニクス関連産業の稼働率が国内・海外ともに回復せず、特に中国においては年末のクリスマス商戦に向けた稼働率の上昇も見られず、安価な海外製品との競合により利益率も低下しました。

家庭紙・日用雑貨事業につきましては、消費者の低価格志向や安価な輸入品の増加などにより家庭紙市況が低迷し、夏場の需要減という季節的要因はあったものの、事業環境は想定以上に厳しいものとなりました。

これらにより、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに、当初予想を下回る見込みです。

（2）通期

不織布事業につきましては、引き続きエレクトロニクス関連産業の稼働率回復の見通しは不透明であり、比較的堅調だった国内の光学関連分野も次第に失速が見られ、また、中国の各メーカーは更なる減産体制に入っております。これらにより消耗品の消費が落ち込む中、安価な海外製品との競合による利益率の低下等により、業績は引き続き低調に推移するものと予想されます。

家庭紙・日用雑貨事業につきましては、冬場から春先にかけての家庭紙の需要増のほか、インフルエンザ対策などによるマスク等季節商材の需要増加が期待されるものの、第2四半期連結累計期間までの落ち込みを補うには至らないものと予想されます。

これらにより、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに、当初予想を下回る見込みです。

2．個別業績予想の修正理由（通期）

不織布製品の主要販売先であるエレクトロニクス関連産業の稼働率が国内・海外ともに引き続き低迷しており、比較的堅調だった国内の光学関連分野も次第に失速が見られ、今後の回復の見通しも不透明な状況にあります。また、中国においては、年末のクリスマス商戦に向けた稼働率の上昇も見られず、各メーカーは更なる減産体制に入っております。これらにより消耗品の消費が落ち込む中、安価な海外製品との競合による利益率の低下等により、業績は低調に推移するものと予想されます。

これらにより、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに、当初予想を下回る見込みです。

※本資料に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以　上